

... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \*

北海道バイオマス・メールマガジン 第4号  
[2006.5.25 発行] 北海道バイオマスネットワーク会議

\* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \*

===C/o/n/t/e/n/t/s/=====C/o/n/t/e/n/t/s/=====C/o/n/t/e/n/t/s/=====

< <もくじ> >

- 「北海道バイオマスネットワーク会議」総会の開催決定！
- 「とがち・バイオマス利活用方策」を策定
- J Aグループ北海道バイオマス利活用検討委員会を設立
- 「北海道バイオマスネットワーク会議情報誌(HBne News)」を創刊！
- Government News [道内関連等] (H18.1~4)
- 東藻琴村、別海町、鹿追町などの「バイオマスタウン構想」を公表
- 「バイオマス・ニッポン総合戦略」を見直し
- 札幌グランドホテル(三井観光開発株)が「平成17年度バイオマス利活用優良 農村振興局長賞」を受賞！
- 今後の行事予定情報
- 事務局だより
- 読者のみなさまからの情報をお待ちしています
- 編集後記

===H/B/net/(1)/=====H/B/net/(1)/=====H/B/net/(1)/=====H/B/net/(1)/===

「北海道バイオマスネットワーク会議」総会の開催決定！  
 平成18年度の「北海道バイオマスネットワーク会議」総会の開催日時・場所が次のとおり決定しましたので、お知らせします。  
 今回の会議から、バイオマスの利活用に感心をお持ちの民間企業などの皆さんを、会員登録制としました。昨年同様、会議の傍聴は自由ですが、会議に積極的な参加していただく意味からも、是非この機会に会員としてご登録ください。また、今年は、会議終了後に参加者の皆さんとの情報交換会を予定していますので、会議とあわせて奮ってのご参加を期待しています。  
 詳細については、HPをご覧くださいか、事務局までお問い合わせください。

北海道バイオマスネットワーク会議総会  
 日 時：平成18年6月9日(金) 15:00~  
 場 所：札幌市教育文化会館 研修室403(札幌市中央区北1条西13丁目)  
 内 容：平成17年度の活動実績、平成18年度の活動内容、キャッチフレーズの決定 など  
 情報交換会  
 日 時：平成18年6月9日(金) 17:30~  
 場 所：ホテルロイトン札幌クリスタルホール(札幌市中央区北1条西11丁目1)  
 参加費：4千円(当日会場にてお願いします。)

【申込み・問い合わせ先】  
 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
 北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ  
 TEL:011-204-5197 FAX:011-232-4970  
 E-mail:kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp  
 URL:http://www.pref.hokkaido.lg.jp/

===H/B/net/(2)/=====H/B/net/(2)/=====H/B/net/(2)/=====H/B/net/(2)/===

「とがち・バイオマス利活用方策」を策定  
 広大な土地と豊かな自然に恵まれた十勝管内はバイオマス資源が豊富に存在し、管内各地域においてバイオマス資源の利活用に向けてさまざまな取り組みが行われてます。十勝支庁では、平成16~17年度にかけて管内のバイオマス利活用に係る検討等を実施しており、このたび、管内のバイオマス利活用の将来的な方策として「とがち・バイオマス利活用方策」を策定しました。  
 「循環型農業創出検討部会」、「エタノール検討部会」及び「木質ペレット検討部会」における検

討結果や「今後の効果的な展開に向けて」、「十勝の目指すべき姿」等の方策が盛り込まれています。  
十勝地域では、バイオマス利活用を地域が一体となって取り組むための組織として、平成16年度に十勝支庁が中心となって、道内における地域ネットワークの先駆けとなった「十勝バイオマス利活用促進会議」が設置されました。今年度からは、事務局をNPO法人に移管することとしており、新たな取組が期待されます。

#### 【問い合わせ先】

〒080-8588 帯広市東3条南3丁目  
北海道十勝支庁地域振興部地域政策課  
TEL:0155-26-9022 FAX:0155-22-0185  
E-mail:tokachi.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp  
URL: <http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/chisei/baiomass.htm>

====H/B/net/(3)/=====H/B/net/(3)/=====H/B/net/(3)/=====H/B/net/(3)/====

JAグループ北海道バイオマス利活用検討委員会を設立  
北海道は豊富なバイオマス資源を抱え、将来的にその利活用の向上が望まれ、中でも農業の役割は大変大きなものがあります。  
このような状況の中、JAグループ北海道では、基幹産業である農業の基盤強化を図る戸ともに、地球温暖化の防止、新規需要の開発、農業・農村の活性化等を目的として、平成18年5月24日に「JAグループ北海道バイオマス利活用検討委員会」を設立しました。  
検討委員会は、道内の農業団体のほか、とかち財団、北海道大学、北海道経済連合会、関係行政機関で構成され、北海道大学農学部服部昭仁副学長が委員長に選出されました。  
委員会では、バイオエタノール燃料などのバイオマス利活用の事業化に向けた検討などを行うこととしています。

#### 【事務局】 JA北海道中央会農業振興部（資源環境担当）

====H/B/net/(4)/=====H/B/net/(4)/=====H/B/net/(4)/=====H/B/net/(4)/====

「北海道バイオマスネットワーク会議情報誌(HB net News)Vol.1」を創刊 [バイオマスネットワーク会議]  
北海道バイオマスネットワーク会議の事業の一環として、バイオマスに関する情報を広く皆さんにお知らせするために、平成18年3月に第1号を創刊しました。道内のバイオマス情報を定期的にお知らせしたいと考えております。情報誌は、環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループにございますので、お問い合わせください。  
また、この情報誌に対するご意見、ご要望等がございましたら、事務局まで、お寄せください。  
なお、部数には限りがありますので、ご了承ください。

====G/o/v/e/r/n/m/e/n/t/=====G/o/v/e/r/n/m/e/n/t/=====G/o/v/e/r/n/m/e/n/t/=====

Government News(H18.1~4)

「バイオマス・ニッポン総合戦略」を改定(H18.3.31)  
平成18年3月31日の開催の閣議で、バイオマスの総合的な利活用に関する戦略「バイオマス・ニッポン総合戦略」の改定が閣議決定されました。  
今回の改定は、京都議定書の発効により、輸送用燃料などへのバイオマスエネルギーの導入促進が必要となっている最近の状況を踏まえたものです。この戦略は平成18年4月1日から適用されます。  
(1)バイオマス輸送用燃料の利用促進  
(2)未利用バイオマス活用等によるバイオマスタウン構築の加速化  
(3)その他  
<農林水産省プレスリリース>  
[http://www.maff.go.jp/www/press/cont2/20060331press\\_7.html](http://www.maff.go.jp/www/press/cont2/20060331press_7.html)

東藻琴村、別海町、鹿追町などの「バイオマスタウン構想」を公表  
農林水産省は、平成18年2月28日から4月27日にかけて、「バイオマスタウン構想」に構想書を提出した道内の東藻琴村、別海町、鹿追町の取組内容を順次、公表しました。同構想を提出、公表されたのは道内で8市町村になります。  
<鹿追町>

地域の主たるバイオガスである廃棄物系バイオマスによる良質な堆肥の生産、堆肥・消化液の効率的な散布の実施、さらには、バイオガスから得られるエネルギー利用から新たなバイオマス利用技術体系を確立し、耕畜連携の確立と地域住民の連携により自然環境への負荷の少ない循環型地域の構築を目指します。

<別海町>

家畜排せつ物をバイオガスに変換し、地域の安定的なエネルギーとして活用するとともに、発生するふん尿創課役を有機肥料として地域に還元させることにより、循環型酪農業と豊かな酪農村の形成、そして食品加工業等の起立ならびに観光産業振興を図っていきます。

<東藻琴村(現：大空町)>

これまで畑作と畜産が盛んな特性を活かし、堆肥や敷料等へバイオマスを活用してきました。今後は、現状の利活用システムのさらなる推進、農産物残さを加えた高品質な堆肥の生産・利用を通じて、地域循環型農業を実践し、消費者の安全安心に対するニーズに即したクリーン農業へ取組むことを通じて、地域ブランドの確立や担い手の育成、地域活性化を目指します。

<農林水産省プレスリリース>

<http://www.maff.go.jp/www/press/>

「平成17年度バイオマス利活用優良表彰事業受賞団体決定(H18.1.25)

農林水産省は、平成17年度「バイオマス利活用優良表彰事業」として、たくさんの応募の中から、農林水産大臣賞、農村振興局長賞など25点を発表しました。

この事業は、これまで十分利用されてこなかったバイオマス資源を農林水産業に有効活用している自治体、関係機関・団体を顕彰するもので、農林水産大臣賞には、愛知県田原市・グリーンサイトジャパンと北越製紙(株)が受賞しました。

道内では、三井観光開発株式会社 札幌グランドホテルが農村振興局長賞に決定しました。

審査委員講評

<三井観光開発株式会社 札幌グランドホテル>

ホテルで発生する食品残さから製造した堆肥や飼料を契約農家へ提供し、栽培した農産物をホテルの食材として利用することで資源循環システムを構築し、生産者の販売先も確保していること、また技術開発により、自社で発生する廃食用油のポイラー燃料としての利用を実現した点を評価しました。

<農林水産省プレスリリース>

[http://www.maff.go.jp/www/press/cont2/20060125press\\_3.html](http://www.maff.go.jp/www/press/cont2/20060125press_3.html)

====E/v/e/n/t/====E/v/e/n/t/====E/v/e/n/t/====E/v/e/n/t/====

今後の行事予定情報

平成18年5月25日(木) ゴミ減量・リサイクルパネル展 [会場：道庁本館1階 道民ホール]  
～5月26日(金) お問い合わせ先：道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ  
(011-204-5197)

平成18年6月9日(金) 「北海道バイオマスネットワーク会議」総会(15:00～)  
(札幌市教育文化会館(札幌市中央区北1西13))  
「北海道バイオマスネットワーク会議」情報交換会(17:30～)  
(ロイトン札幌クリスタルホール(札幌市中央区北1西11-1))  
お問い合わせ先：道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ  
(011-204-5197)

====S/e/c/r/e/t/a/r/i/a/t/====S/e/c/r/e/t/a/r/i/a/t/====S/e/c/r/e/t/a/r/i/a/t/====

事務局だよ

読者の皆さんからの情報をお待ちしています

バイオマスに関する取組みや情報などを、このメールマガジンでご紹介させていただきますので、情報を事務局までお寄せください。内容・字数は問いません。

編集後記

前号から期間があいてしまいましたが、「北海道バイオマス・メールマガジン 第4号」をお届けします。この4月1日から新たな体制で平成18年度がスタートしました。昨年9月に「北海道バイオマスネットワーク会議」を立ち上げてから約半年が経過しましたが、本格的な取組はこれからです。

平成14年に閣議決定された「バイオマス・ニッポン総合戦略」も3月31日に見直しが行われたところです。見直しの主な内容としては、「バイオマス燃料推進」と「未利用資源利活用に向けたバ

バイオスタウン構想の推進」が大きな柱となっています。

私共としても、この二点を強く念頭に置きながら会議を運営していきたいと思っておりますので、引き続き皆さまのご協力をお願いします。【J】

登録変更・解除について

配信登録の内容変更（送信先メールアドレスの変更など）や配信登録の解除につきましては、お手数ですが、事務局まで「変更の内容」や「登録解除」の旨をお知らせください。

このメールマガジンは、「北海道バイオマスネットワーク会議」事務局（北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ）で配信しています。

\*\*\*\*\*  
\* 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 \*  
\* TEL:011-204-5197 FAX:011-232-4970 \*  
\* E-mail:kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp \*  
\* (アドレスが変わりました。) \*  
\*\*\*\*\*